



河内れんこんの収穫(門真市・中西農園)



海老芋の収穫(富田林市・乾農園)



発行所
大阪府農業会議
大阪府中央区農人橋2-1-33
JAバンク大阪信連事務センター3階
電話 直通 06(6941)2701~2
http://www.agri-osaka.or.jp
発行人 中谷 清

明けまして
おめでとう
ございます



令和7年元旦
大阪府農業会議
役員一同

年金の
お受け取りは
JAで

JAバンク大阪(JA/信連)

JA/バンク大阪へ

検索

新たななにわの伝統野菜
『河内れんこん』と『海老芋』

このほど古くから河内地域に根差して生産されてきた『河内れんこん』と『海老芋』の2品目がそれぞれ「なにわの伝統野菜」に認証された(詳細は8面)。

「古事記」で詠まれた歌から奈良時代当時より河内地域に蓮が生産していたことがうかがえる。また、明治初期の書物「日本地誌提要」でも茨田郡(現在の大阪府寝屋川市周辺)の土産に「蓮根・ハスの子」の記載があるなど、当時から栽培されていた河内れんこんが、今日まで名を残して来た。

一方、海老芋は、昭和初期の文献に「唐の芋(蝦芋)」、「石川村附近の海老芋」などの記録が残っている。その後、富田林を中心に南河内地域の主産物の一つとなった海老芋は、親芋に連なっている「子芋」が古くから高級食材として京阪神の市場や飲食店で取り扱われて来た。

正月料理において、れんこんは明るい未来を見通し、海老芋は子孫繁栄を象徴するという。縁起物にあやかり、佳き一年となりますように。

(沼田)